

桑茸

〔武江産物志〕蕈ひらたけ天花茸

〔本草和名〕十三桑菌、一名木叟楊玄操

出太清經和名久波乃多介

〔大和本草〕九桑耳 桑ノ木ニ生ズル茸ナリ、本草二十八卷木耳ノ下ニ載ス、一名桑上寄生ト云、桑

ノヤドリ木ヲモ桑寄生トス、同名異物ナリ、桑耳ニ二種アリ、ヤハラナル茸アリ、食フベシ、一種ハ

堅シ、是ハ俗ニ猿ノ腰掛ト云、堅クシテ不可食、其功性ハ柔ナルモ硬キモ一也、本草時珍ガ説可考、

舌桑トテ舌上口中白ク小瘡生ズ、桑耳ノ硬キヲコソゲ付レバ愈ユ、

〔延喜式〕三十七諸國進年料雜藥

美作國冊一種、中桑茸二斤、

〔倭訓栞〕中編九さるのこしかけ 瘰癧花をいふ、酉陽雜俎に胡孫眼と見えたり、胡孫はさる也、

〔重修本草綱目啓蒙〕二十木耳中

桑耳 此條二品アリ、軟ニシテ食フベキモノハ桑耳ナリ、硬クシテ食フベカラザルモノハ桑黄

ナリ、釋名ノ桑樗、桑蛾、桑雞ノ三名ハ桑耳ノ名ナリ、一名五鼎芝詳芳譜、桑菌證類本草、俗名クハタケ、桑樹

ニ生ズル菌ナリ、茶色ニシテ冬月多シ、釋名ノ桑臣、桑上寄生ノ二名ハ桑黄ノ名ナリ、一名木麥證類

草、桑黄菰附方、俗名メシマコブ、桑樹ニ生ズル、カサノシシカ獼猴眼ナリ、故ニ硬菰ト云、肥前平戸ノ海中雌島ニ

アリ、故ニメシマコブト云、桑樹諸木及ビ土石ニ生ズ、木ニ生ジ形圓ニシテ内黄色、光アルモノヲ

平戸ニテ實コブト云、或ハ實コンプト云、桑上ノモノヲ上トス、土石上ニ生ジ、形扁クシテ内黄色

ナルヲ、平戸ニテ花コブト云、或ハ花コンプト云、微赤黒ヲ帶ルモノヲ平戸ニテ、古コンプト云、今

藥舖ニ貨ルモノハ丹後ノ産多シ、中

石茸

〔下學集〕下石茸